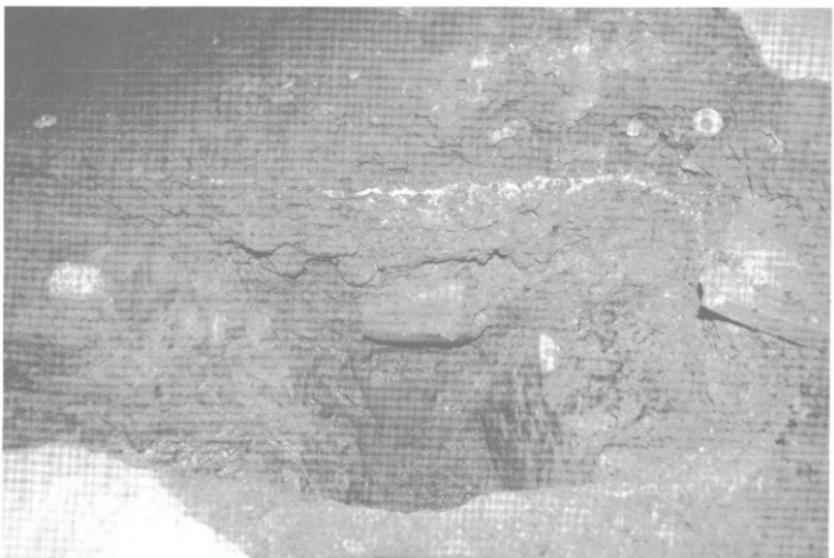
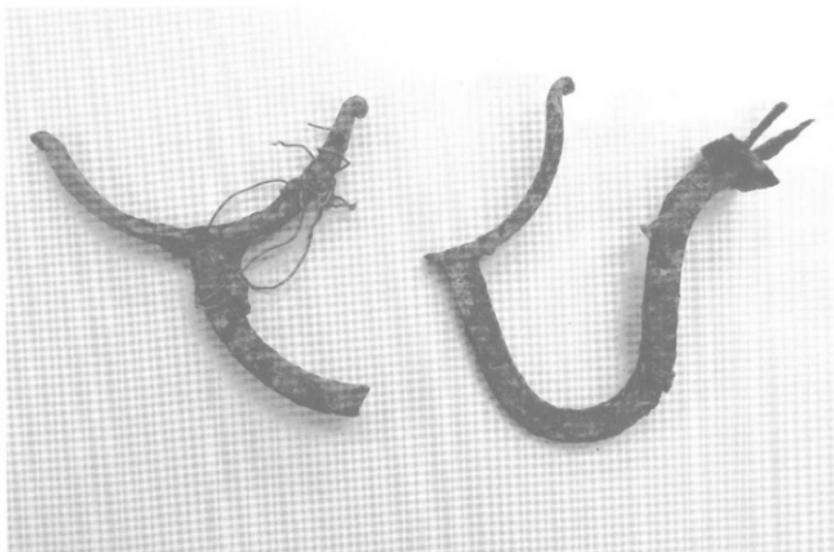




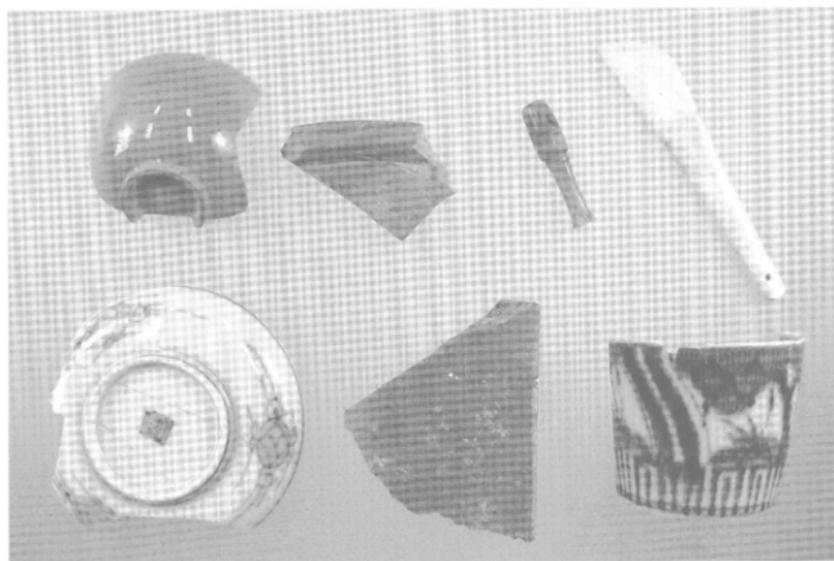
1. C区 1号遺構（水溜遺構）の発掘状況（北より）



2. C区 2号遺構（導水溝）の発掘状況（北より）



1. 出土遺物



2. 出土遺物

第3項 平成20年度（2008）

1. 調査場所

津和野町邑輝地内

2. 調査対象の文化財及び調査面積

旧堀氏庭園 22m²

3. 調査概要

①調査方法

旧堀氏庭園の主屋修復事業に伴い、基礎工事において部分的に地下を掘削する場所において記録保存を目的とした発掘調査を実施した。調査区としては、玄関付近基礎部をA区、茶の間基礎部をB区、新座敷基礎部をC区とし、幅は1m、深さ50cmの範囲である。

この後、人力による発掘調査を進めた。発掘範囲が狭いため面的な発掘をすることができないため、土層の堆積状況の確認や出土遺物を層位別に取り上げた。発掘後には、写真撮影・図面実測・測量などをおこなった。

②調査結果

今回の調査は、基礎で破壊される部分のみが範囲であるため、掘削幅が狭く深さも限られていて。また、面的に判断するのが困難であるので層序から検討して以下、各区ごとに記述する。

A区

本区は広間と七帖間の南側基礎部にあたり、調査面積は11m²である。調査地点は基礎部分であるため約20cm前後の石が並び、柱がある部分には約50~70cm四方の大きな石が設置されていた。基礎石以外の表土は約2、3cmの石灰質の層が広がっており、おそらく床下を乾燥されるためであったと思われた。礎石の下層は基本的には全て盛土で固く締められている。また、柱がある基礎の下層では拳大の石を多く敷き、地盤沈下しないように強化している。

B区

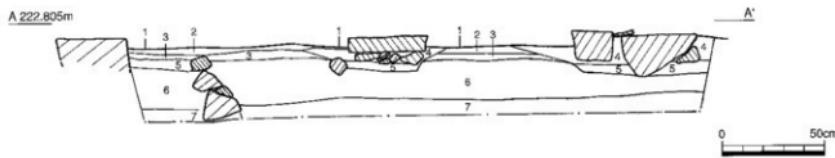
本区は茶の間の東・北側の基礎部分にあたり、調査面積は8m²である。A区と同様に約20°前後の基礎石が並び、柱がある部分には約50~70cmの四方の大きな石が設置されていた。そして、石灰質の層はA区同様に確認できるが、本区付近は建物が崩壊していた所に近いことや、山側のため湿度が高いことなどから石灰が流れると考えられ、確認できない部分や約1cm幅の層になっていた。柱がある基礎の下層では、A区同様に小石を敷いて強化をしており、礎石の下層は基本的には全て盛土であり固く締められている。

C区

本区は新座敷の一部の基礎部あたり、調査面積は3m²である。この周辺は主屋修復事業以前に壊れていた部分であり、表面の礎石等は移動している可能性があった。また岩盤を掘削して宅地造成をしているため、表土のすぐ下が岩盤といった場所であった。平成19年度（2007）の調査結果と合わせて判断すると、北側が岩盤を掘削した部分であり、南側を盛土によって整備し宅地造成したと考えられた。

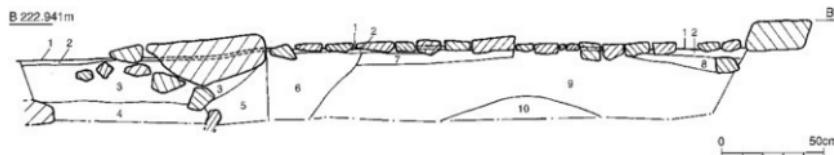
③出土遺物

陶磁器類・瓦



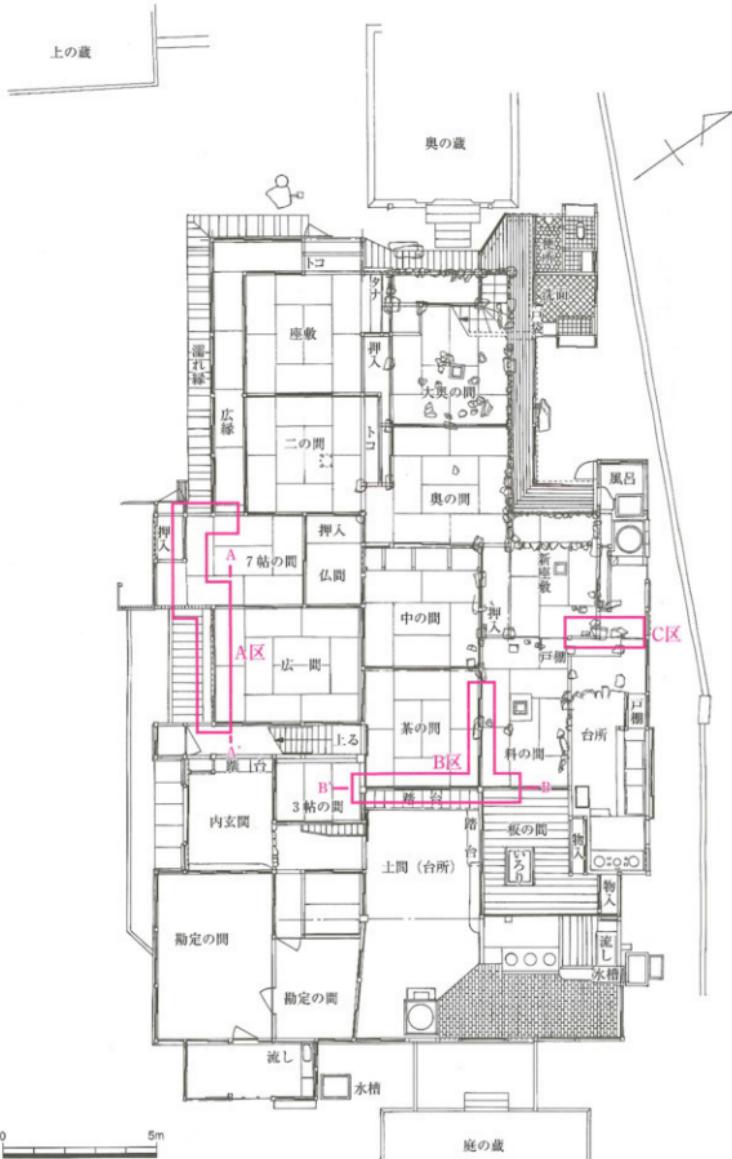
1.表土(砂層) 2.石灰層 3. Hue10YR6/6 明黄褐色土
4. Hue10YR4/3 にぶい黄褐色土(石灰層を含む) 5. Hue10YR4/3 にぶい黄褐色土
6. Hue10YR3/3 暗褐色土 7. Hue10YR4/3 にぶい黄褐色土

第26図 平成20年度調査 A区北壁土層図



1.表土(砂層) 2.石灰層 3.Hue10YR3/1 黒褐色土(10cmの石を多く含む)
4. Hue10YR5/4 にぶい黄褐色土 5. Hue10YR5/3 にぶい黄褐色土
6. Hue10YR4/3 にぶい黄褐色土(1~3cm台の小石を多く含む) 7. Hue10YR5/6 黄褐色土(小石を少量含む)
8. Hue10YR6/6 明黄褐色粘質土 9. Hue10YR4/6 紅褐色土(小石を少量含む) 10. Hue10YR4/6 紅色砂質土

第27図 平成20年度調査 B区東壁土層図



第28図 旧堀氏庭園調査配置図（平成20年度）



1. A区 北壁



2. B区 東壁



1. 出土遺物



2. 出土遺物

報告書抄録

ふりがな	つわのちようないいせきはっくつちょうさほうこくしょ4						
書名	津和野町内遺跡発掘調査報告書4						
副書名							
巻次							
シリーズ名	津和野町埋蔵文化財報告書						
シリーズ番号	第9集						
編著者名	中井勝 嶽 宮田健一						
編集機関	津和野町教育委員会						
所在地	〒699-5695 烏根原鹿足郡津和野町後田口64-6 TEL(0856) 72-1854						
発行年月日	西暦2009年3月20日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村・遺跡番号	北緯 °・'・"	東経 °・'・"	調査期間	調査 面積	調査原因
津和野城下町	鳥根県 鹿足郡 津和野町 蓬原	32506 W129	34度 27分 12秒	131度 45分 19秒	2006.4.24~4.27 2007.11.7~11.12 2008.5.14~5.16	4m ²	個人住宅新築工事
津和野城下町	鳥根県 鹿足郡 津和野町 蓬村	32506 W129	34度 28分 10秒	131度 46分 37秒	2006.6.12~6.19	8m ²	店舗新築工事
山陰道	鳥根県 鹿足郡 津和野町 柳村	32506 T43			2006.9.5~9.7	2m ²	日原地区簡易水道事業
津和野城下町	鳥根県 鹿足郡 津和野町 森村	32506 W129	34度 28分 10秒	131度 46分 37秒	2006.11.1	3m ²	個人住宅新築工事
津和野藩跡	鳥根県 鹿足郡 津和野町 後田	32506 W42	34度 27分 52秒	131度 46分 12秒	2006.6.27~2007.3.30	69.2m ²	遺跡の保存目的
外ヶ崎 石塁跡	鳥根県 鹿足郡 津和野町 後田	32506 W130			2007.7.18~9.28	20m ²	(株)NTTドコモ「津和野寺田墓地」事業
津和野城下町	鳥根県 鹿足郡 津和野町 後田	32506 W129	34度 27分 52秒	131度 46分 12秒	2007.9.11~9.14	3m ²	個人住宅新築工事
津和野城跡	鳥根県 鹿足郡 津和野町 後田・蓬原	32506 W6	34度 27分 45分 33秒	131度 45分 49秒	2007.4.2~5.25	1622.8m ²	遺跡の保存目的
山陰道 (野坂峠越)	鳥根県 鹿足郡 津和野町 中座	32506 W55	34度 27分 46分 32秒	131度 46分 09秒	2007.8.12~9.10 2008.2.12~2.20	48m ²	遺跡の保存目的
山陰道 (徳島峠越)	鳥根県 鹿足郡 津和野町 蓬田	32506 T41			2007.9.12~12.21 2008.2.21~3.11	16m ²	遺跡の保存目的
旧堀氏庭園	鳥根県 鹿足郡 津和野町 蓬原	32506	34度 29分 45秒	131度 43分 22秒	2007.11.27~12.21 2008.6.10~6.24	59m ²	遺跡の保存目的
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構			主な遺物	特記事項
津和野城下町	城下町	江戸時代	井戸	土坑基	礎石	集石土坑 瓦 陶磁器 金属製品 石製品	
津和野藩御殿跡	屋敷跡	江戸時代	石垣	瓦敷遺傳	地下室	石列	瓦 陶磁器
外ヶ崎跡	その他	江戸時代 近世	集石土坑				
津和野城跡	城跡	江戸時代	石垣	神社跡	水路	登山道	
山陰道 (野坂峠越) (徳島峠越)	街道跡	江戸時代	石垣	石垣	番所(開所)跡 横断溝	暗渠	津和野藩番所(開所)の位置を確認。
旧堀氏庭園	名勝	江戸時代	石列	土坑	雨落溝	水溜遺構	陶磁器 瓦 金属製品

**津和野町埋蔵文化財報告書
津和野町内遺跡**

平成18～20年度試掘確認調査

2009(平成21)年3月20日

編 集 島根県津和野町教育委員会
島根県鹿足郡津和野町後田口64-6

印 刷 大村印刷株式会社
防府市西仁井町一丁目21番55号
TEL (0835)22-2555

